

沖田地区 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	富士市沖田地区は、市内有数の工業地域であるが、内水による浸水常襲地区であるため、早急な内水対策が必要である。しかし、本地区は標高が低く平地であり、一級河川に囲まれ排水が困難な地域であることから、統括的な内水処理対策を計画的に実施する必要性が高い地区である。 なお、沖田地区は過去10年間に18回以上の浸水実績があり、延べ床上浸水戸数は21戸、延べ床下浸水戸数は69戸が届け出されているが、工業専用地域のため、届け出のない企業の被害が相当数確認されており、社会経済活動に大きな影響を来している状況である。 本計画における雨水処理施設の整備の計画期間は、令和7年～令和12年度で事業費は約28億円である。 以上より、沖田地区(排水区域面積168ha)の浸水対策は、計画的・集散的に対策を推進する必要があるため、主要な管渠を補完する分流雨水ポンプ場の整備について、大規模雨水処理施設整備事業を適用する。
整備目標	① 本計画における対象降雨 ・ 本計画におけるハード・ソフトを含めた対象降雨：68mm/hr ・ 目標とする理由：平成26年10月に静岡気象台で記録した既往最大降雨68mm/hr ・ ハード整備による整備水準の目標：56.7mm/hr（1/7年確率降雨） ②目標設定 - i)生命の保護の観点：当該排水区の床上浸水を防止する。 - ii)都市機能の確保の観点：交通の支障となる道路冠水を軽減し、生産、輸送活動等の機能を確保する。(道路冠水深20cm未満) - iii)個人財産の保護の観点：排水区内工場建屋、家屋の床上浸水を防止する。 - iv)その他：特になし。 ③ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について - i)ハード対策 雨水処理施設整備により、56.7mm/hr（1/7 確率）の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 - ii)ソフト対策及び自助 施設整備で対象とする降雨量を上回る既往最大降雨68mm/hの降雨において、内水ハザードマップの活用促進に向けた地域企業、住民への広報活動や、地区内水路に設置した簡易水位計・雨量観測器の情報提供を行い浸水被害抑制を図る。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有 (令和6年5月1日策定済み)			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 雨水ポンプ場の整備 排水能力 $Q=300 \text{ m}^3/\text{分}$
			下水道管理者以外	・ 特になし
		ソフト対策	下水道管理者	・ 内水ハザードマップの作成・公表 ・ 簡易水位計・雨量観測器の設置及び情報提供
			下水道管理者以外	・ 内水ハザードマップの広報活動(富士市防災危機管理課)
	自助	ハード対策		・ 土のうステーションの設置 (実施済み)
		ソフト対策		・ 総合防災訓練 (富士市防災危機管理課)

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

* 下水道浸水被害軽減総合計画に基づき実施している事業の場合、既存の施設調書を添付すること

年度計画 (百万円)

名称	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
用地費・移転補償費	0	0	500	0	0	0	500
雨水ポンプ場	25	55	0	733	733	734	2,280
計	25	55	500	733	733	734	2,780

備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額(事業費)を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<事業評価の内容> 浸水被害の軽減便益：1,103 百万円が削減される。 B／C：6.4 経済的内部収益率：45% ソフト対策，自助の整備効果等： 内水ハザードマップの活用促進に向けた地域住民への広報活動や、地区内水路に設置した簡易水位計・雨量観測器の情報提供を行い浸水被害抑制を図る。
放流先河川との調整状況	現在、放流先河川である一級河川滝川及び一級河川沼川は、静岡県が管理している。沖田地区雨水ポンプ場からの排水量 300 m³/分(5 m³/秒)について、<u>静岡県との協議により同意を得られている。</u>
その他	特になし

沖田地区大規模雨水処理施設整備事業(富士市) 位置図



計画対象区域界



ポンプ施設



既設開渠



行政施設



緊急輸送道路



(市)左富士臨港線

(市)吉原沼津線

国土交通省静岡国道事務所
富士国道維持出張所

岳南排水路管理組合

JR東海道新幹線

国道1号線バイパス

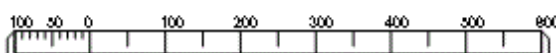
(県)富士清水線

(一)沼川

(一)薄川

田子の浦港

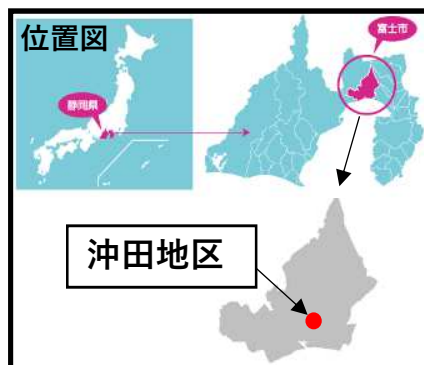
縮尺 1 : 10000



本事業により整備

おきた 沖田地区 大規模雨水処理施設整備事業（富士市）

- 沖田地区では、平成26年10月台風（既往時間最大雨量68mm/h）により、甚大な内水浸水被害が発生。
- 沖田地区大規模雨水処理施設整備事業により、雨水ポンプ場の整備を行い、7年に1回程度降る非常に激しい雨（56.7mm/h相当）に対して浸水被害の解消を図る。



令和3年7月豪雨による被害状況



時間最大降雨：47.5mm/h
床下浸水：32件 道路冠水：63件

事業概要

- 事業内容：雨水ポンプ場(排水能力300m³/分)
- 全体事業費：約28億円
- 事業期間：令和7年度～令和12年度



事業の効果

○排水量
→既存の3.3倍

○浸水量
→77%削減

浸水シミュレーションによる対策効果検証

